

京都市民スポーツ振興計画における数値目標と実績等について

1 数値目標

令和4年3月の計画延長の際、次の3つの数値目標については、計画策定時からいずれも実績値は上昇したものの、コロナまん延前（令和2年2月）時点でも目標値には届かず、コロナ禍（令和2年3月以降）では、その影響を大きく受け、全ての実績値が低下したことから、数値目標については計画延長の最終年度である令和7年度まで据え置くこととした。

本件調査については、計画改定時以外では、京都マラソンに併せて実施するアンケート調査（18歳以上の市民3,000人を無作為抽出）により把握している。

R3、R4 は京都マラソンがオンライン開催のため、アンケート調査を実施していない。
（※コロナまん延前：R2（2020）2月 / コロナ禍：R2（2020）3月以降）

(1) するスポーツ「週1回以上運動やスポーツをする市民の割合」

目標値：令和7年度 65%以上（令和2年度の目標値65%以上を据置き）

H22（2010） （計画策定時）	H27（2015） （計画改定時）	R2（2020） （計画延長時）	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
48.4%	53.2%	コロナまん延前 63.4% コロナ禍 58.1%	—	—	60%	60.7%

(2) みるスポーツ「市内で直接スポーツを観戦した市民の割合」

目標値：令和7年度 50%以上（令和2年度の目標値50%以上を据置き）

H22（2010） （計画策定時）	H27（2015） （計画改定時）	R2（2020） （計画延長時）	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
24.4%	38.2%	コロナまん延前 27.8% コロナ禍 7.5%	—	—	23.4%	27.8%

(3) 支えるスポーツ「スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合」

目標値：令和7年度 10%以上（令和2年度の目標値10%以上を据置き）

H22（2010） （計画策定時）	H27（2015） （計画改定時）	R2（2020） （計画延長時）	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
3.1%	4.4%	コロナまん延前 7.7% コロナ禍 2.3%	—	—	5.2%	4.6%

2 市民生活実感評価

令和4年3月の計画延長時から、上記の数値目標に加え、毎年度、本市の政策評価制度における市民生活実感評価により、市民にどう実感されているかを確認しながら、より良い評価を目指すこととした。

指標	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
市民がスポーツを楽しみ、健康で心豊かに暮らしている	c	c	c	c
市民がスポーツを楽しんだり、スポーツを支える活動を通じて、様々な人と人とがつながっている。	c	c	c	c
市民がスポーツに身近に触れる機会があり、スポーツがまちの魅力を高めている	d	c	c	c

評価 大変良い状況にある (a)、やや良い状況にある (b)、
どちらとも言えない (c)、やや悪い状況にある (d)、
大変悪い状況にある (e)